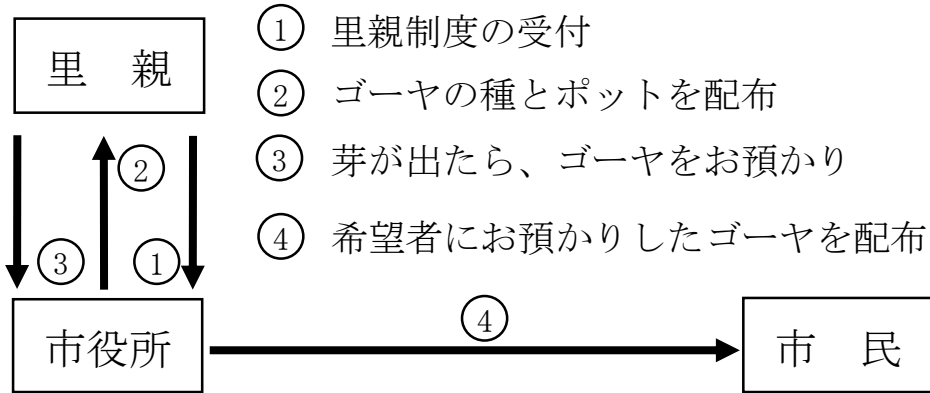


ゴーヤの里親制度について

・ゴーヤの里親制度とは……。

市民の皆さんが里親となり、ゴーヤ（種）が発芽するまで育ててもらいます。

芽が出たら、ゴーヤを一度市がお預かりし、広報や市HP等にて新たに育ててもらおう市民を探す制度です。



- ① 里親制度の受付
- ② ゴーヤの種とポットを配布
- ③ 芽が出たら、ゴーヤをお預かり
- ④ 希望者にお預かりしたゴーヤを配布

～里親制度の必要性～

毎年、夏季の日差しを快適に緩和できる緑のカーテンの材料として、ゴーヤの種を配布しています。

この事業には、市民の方から毎年多くの申込みがありますが、中には「芽が出なかった」、「協力したいけど緑のカーテンを設置する場所に限りがある」などのご意見がありました。

そこで、苗まで育てられる方が里親になり、今まで上手く発芽しなかった方、緑のカーテンの設置場所に余裕がある方に配布します。

緑のカーテンは、夏の強い日差しを遮ることで、室温の上昇を抑える効果が期待できます。そのため、エアコンに頼りすぎることなく、自然の涼しさで夏を快適に過ごせ、省エネや、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素排出の削減にもつながります。

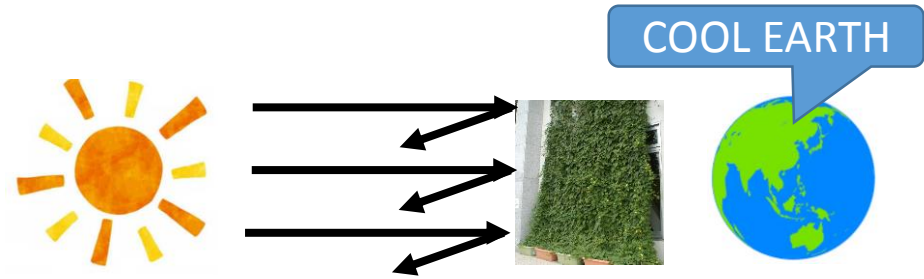
我こそはという方、是非、ゴーヤの里親制度にご協力ください。

～広げよう緑のカーテンの輪～

※「緑のカーテン」: ゴーヤなどのツル性の植物を窓の外に這わせてつくる、植物のカーテンのこと。

・「カーボンニュートラル」の達成にむけて。

本市では、2050年にカーボンニュートラルを目指す、「ゼロカーボンシティ」を表明しました。足元からできる取組みで「ストップ温暖化！」にご協力ください。



・ゴーヤが発芽したら。

発芽したゴーヤをポットに入れて、環境共生課までご持参ください。

(1ポットに、苗5個程度)



・環境豆知識～「生物多様性」について～

生物多様性とは、地球の歴史の中で生物は様々な環境に適応・進化し、多様な生物が生まれてきました。これらの生物には、一つひとつに個性があり、地球上に生きる全ての生物が、直接的または間接的に支え合って生きていることです。

私たちの生活に欠かせない酸素や水、食料などは、生物多様性が与えてくれる恵みです。

生物多様性については、環境省HPをご参照ください。

(<https://www.env.go.jp/seisaku/list/biodic.html>)